

2016 年 12 月 22 日発行

二火会たより・29 号

日本山岳会 二火会 〒102-0081 千代田区四番町 5-4 TEL03-3261-4433

今年も早いもので、2016 年も後わずかになりましたね。
皆様にとりまして、今年はどうな年でしたか？いい思い出が多く残りましたか。
2017 年は酉年、コケコッコーの年です。
これは 2017 年が「結構な年」だよと言っているように聞こえます。
又新しい年にむかって、幾つになっても希望と夢を持って前に進みたいと願っています。
年齢を忘れ、今出来ることを、探して、輝きたいものと思います。
2017 年はこんなことを計画中です。
*2 月に映画の上映も下野さんの提案でいたします。
*小笠原の植生についてお話しいただけるように計画中です。
*出来れば小笠原にも行ってみたいと思っています。
小笠原に行ってみたいと思う人は 1 月の山行に参加してください。相談したいと思っ
ています。
*去年に引き続き東海支部の方に岐阜の山〔金華山・岐阜城〕等案内して下さるよう
に交渉中です。
これからも二火会についてご要望、苦情などなんでもお寄せ下さいませ。
よろしくお願いいたします。

代表 佐藤登代子

今後の予定

- H27. 1. 10 鎌倉七福神めぐり：松島担当
2. 11 特別映画会 「タスマニア物語」：下野担当
2. 7 八国山散策：亜厂・佐藤担当
3. 14 小網代の森&三崎港：染谷担当
4. 勝峰山（五日市）：下野担当
5. 総会



山 行 報 告

10月の山行 春日井三山：道樹山（429m）．大谷山（425m）．弥勒山（436m）

■期 日：2016年10月21日（金）晴

■参加者：大船武彦、亜厂文代、植村澄江、須藤節子、田中恵美子、佐藤登代子
L川北一博さん（東海支部）、S L高木悟さん（東海支部）

今回は21日に春日井三山、22日に猿投山、23日名古屋散策の山旅です。

21日はJR中央線の高蔵寺駅8：57に到着。本日の参加者6名は東海支部の松本さんに、にこやかに出迎えられる。松本さんの運転の車で登山口の「春日井市都市緑化植物園」の駐車場まで、送って戴く、そこで今日一日案内して下さるお二人、リーダーの川北さんとサブリーダーの高木さんにお会いした。

9：30に駐車場を出発し、細野キャンプ場を右にして山道へ入る。分岐を右へ道樹山方向へ進むと途中道樹山開山をした全浄行者の墓がある。ここより600段程あるという階段の始まりだ、段差が低いので助かる。頂上には社があり、拝礼をして次の大谷山へと向かう。やはり階段が多いが、尾根道は雑木林で明るく、心が和む。大谷山を越え、いよいよ最後の弥勒山へと向かう。アップ、ダウンはあるが、標高差が少ないので、とても楽しいコースだ。

この辺りの地層は4～5cmの岩が重なり、層になっていて、昔は海の中にあった岩でチャートというと教えて戴いた。

12：15に弥勒山に着いた。展望台になっていて、濃尾平野や恵那山等すばらしい景色が開けている。ここで昼食にし大満足で下山する。14：00に植物園に元気に戻った。紅葉にはまだ早かったのですが、山野草の花が見られた。

今回応援して下さいました松本さん、川北さん、高木さんに感謝いたします。

（文 田中恵美子）



道樹山



弥勒山

10月の山行 猿投の森音楽会と猿投山（629m）（三等三角点）

■期 日：2016年10月22日（土）

■参加者：尾上（東海支部）、大船、亜厂、植村、須藤、田中、佐籐（係り）

今回は東海支部の松本陽子さんが、色々とお世話下さり、猿投山を歩くことが出来ました。

22日天気は白曇り、7時40分にホテルを出発し10分歩いて、尾張瀬戸駅に集合する。瀬戸駅ではすでに東海支部の人たちが大勢集まり、順次貸し切りバスに乗車して、音楽会の会場へ向かっていた。音楽会の会場はオーケストラの人たちと、観客の人たちがまるで、劇場にいるかのように一体になれる良い森の中でした。

東海学園の生徒さん達のオーケストラは日頃の鍛錬の結果がよくでており、素晴らしかったです。又プロのソリスト4名も参加され、その歌声にも感動いたしました、そのうえ市民の人達の交響曲第9の合唱は森の中を駆け抜けるように爽やかでいて、重厚な歌声に圧倒されました。最後に雪山賛歌を参加者全員で合唱して、至福な時は過ぎました。

12時尾上昇さんに案内していただき、猿投山の山頂を目指して会場を出発しました。30分ほど歩いたところで、昼食に尾上さんがナスのお味噌汁を作っていただき、とてもおいしく元気に歩くことが出来ました。昼食で、力を蓄えたところで、登りに入る、暑くもなく、寒くもない絶好の山歩き日和で、楽しく歩きました。

14時頂上に到着、すぐに東の宮へ向かう、途中尾上さんの健脚ぶりは凄く、若いランナーを追いかけて走っておりました。14時40分に又猿投山山頂に戻り、記念写真を撮り、下山に入る。暫くしてから急坂になり、一步一步慎重に下る、登るよりきつい下りでした。

15時音楽会場に着いたときは、尾上さんが一歩早く戻り、我々の為にコーヒーを沸かしてくださり、至れり尽くせりの山行でした。本当に楽しい充実した一日でした。

感謝感謝で身も心も爽やかで、この上なく幸せな山行でした。

23日は名古屋の熱田神宮、名古屋城を訪ねて、楽しい山旅を終えました。

（文 佐藤登代子）



森の音楽祭

11月の山行 関八州見晴台、高山不動尊

■期 日：2016年11月8日（火）薄曇り

■参加者：佐藤登代子、植村澄江、清水千恵子、下野武司、児嶋和夫（係り）

9時半に西吾野駅前に集合、前日は暖かでしたが8日は薄曇りでした。間野まで舗装路を歩き、鉄の歩行者用橋を渡り萩の平コースで登りました。歩きやすい山道です。

2時間ほどで高山不動との分岐に着き、昼食は少し遅れますが関八州見晴台まで行くことにしました。丁度団体さんが下山した後なのでゆっくりできました。富士山、御前山はじめ奥多摩の山々、子の権現から伊豆ヶ岳の奥武蔵の山、武甲山、両神山の秩父の山々が良く見えました。残念ながら都心の方はもやっていて、スカイツリーは見えませんでした。

ゆっくりお昼を取り、高山不動尊（関東三大不動の一つ、高幡不動、成田不動）に下り、大きなお社をお参りました。急な階段下の大イチョウ〔樹齢800年〕も見て、帰りのコースに入りました。

途中、赤坂の分岐からパノラマコースを下りました。かなり下ったところに名前の通り見晴しのきくところがあり、眺望を楽しみました。

下りきったところで沢にかかった丸木橋が流されていたので少し迂回して西吾野駅に無事到着。飯能駅に3時半ごろ着き、駅ビルの中華屋さんで打ち上げとなりました。

お疲れ様でした。

（文：児嶋和夫）



12月の山行 鳶尾山

■期 日：2016年12月6日（火）

■参加者：植村澄江、清水千恵子、下野武司、須藤節子、佐野加代子、佐藤登代子
松澤君子（係り）茂木洋子（係り）

小田急線の本厚木に8名集合 鳶尾団地行のバスに乗るが、途中の工科大学の学生さんと乗り合わせバスは満員の状態だった。

終点の鳶尾団地から少し車道を歩くと、ハイキングコースの入口に到着、いきなり階段の登りが続く、しかし振り返れば遠くに見える山々が紅葉し華やいで見える。

30分ほどで金比羅山に着く。少し歩くと展望台と日清戦争の戦没者の碑が建っている。展望台からの眺めは360度素晴らしく、晴れていればスカイツリーも見えるそうだが今回は暖かくてモヤツてしまっていたが、大山や仏果山は美しい、コナラやクヌギの紅葉も鮮やかだった。更に下って、登ると30分位で鳶尾山の山頂に着く。一等三角点の標識があり、集合写真をとる。

山頂から少し下り、車道を歩き、”いこいの森“に到着、暖かい日だまりで昼食、トイレもあり、幼稚園？の子供達もハイキングに来ていた。ゆっくり昼食をして、八菅神社へ下る。神社には大きなケヤキの木があり歴史を感じる。さらに車道を下り、中津川の橋を渡り、一本松のバス停に、少しバスの時間があり、近くの直売所で野菜など買う。バスで本厚木へ出てささやかな打ち上げをして帰路に着く。

いくつになっても自然に触れ、歩けることに感謝したい。（一言メモ）

（文：茂木洋子）

